

兵庫県公立大学法人 第三期中期目標

兵庫県公立大学法人が運営する兵庫県立大学及び芸術文化観光専門職大学は、人文科学、社会科学及び自然科学の発展とこれらの融合を目指す教育、研究を推進することにより、豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、学術的な新知見を国内外へ発信するなど、地域に根ざし、県民の期待に応える大学として発展してきた。

旧 3 大学の伝統と総合大学の強みを持つ兵庫県立大学は、県下全域に展開するキャンパスで、個性・特色豊かな大学づくりに取り組み、これまで多くの優れた人材を輩出し、教育研究の成果を社会に還元してきた。令和 3 年に開学した芸術文化観光専門職大学は、芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する実践力のある専門職業人の育成を目指し、地域に根ざした教育研究活動を展開している。

我が国においては、人口減少や東京一極集中に歯止めがかからず、地方を取り巻く環境は厳しさを増しており、大規模災害の発生、新型コロナウイルスの流行、緊迫の度合いを増す世界情勢など、国際社会の不確実性も高まっている。

こうした中、両大学が果たすべき役割はますます高まっており、理事長及び学長のリーダーシップの下、1 法人 2 大学の特性を生かしながら、不断の改革を行い、ステークホルダーからの信頼と期待に応え、選ばれる大学であり続けなくてはならない。

第一期、第二期中期目標における成果を礎に、今後も、両大学が社会経済情勢の変化に的確に対応し、世界や地域が直面する課題の解決に貢献する先導的・独創的な教育、研究に取り組み、社会から選ばれ、評価される世界水準の大学となるよう、以下のとおり兵庫県公立大学法人の第三期中期目標を定める。

第 1 基本的な目標

1 兵庫県立大学 ～次代を先導する世界水準の大学～

豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、あわせて学術的な新知見を国内外に発信し、もって地域の発展と我が国の繁栄、ひいては世界、人類の幸せに貢献することを目標とする。

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 次代を牽引する高度な専門性と深い教養、グローバル・リテラシーを有する人材を育成する大学
- ② 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学
- ③ 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

2 芸術文化観光専門職大学 ～芸術文化及び観光の双方の視点で社会に貢献する大学～

芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人を育成し、あわせて地域に根ざした教育研究活動を推進し、もって地域及び国際社会に貢献することを目標とする。

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学
- ② 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学
- ③ 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

第2 教育、研究及び社会貢献に関する目標

1 兵庫県立大学

- (1) 次代を牽引する高度な専門性と深い教養、グローバル・リテラシーを有する人材を育成する大学

ア グローバル社会で活躍できる人材の育成

全学的なグローバル教育を推進することにより、広い視野と外国語コミュニケーション能力に加え、異文化に対する理解と深い教養、世界を舞台に挑戦する主体性を備えた、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。

また、海外留学、海外からの留学生や研究者の受入促進など、国際交流を推進する。

イ 地域を支える専門人材の育成

公立大学として地域の特色を生かした教育の推進や地域のニーズに応えるリカレント教育・リスキリングプログラムの推進により、GX、DX等に関する知識・スキルを修得して、主体的に地域課題の解決に取り組み、地域の活性化に貢献できる人材を育成する。

ウ 社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材の育成

DX教育の推進により、データ分析や生成AIなどの最新技術を活用することができる社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材を育成する。

また、各専門領域における大学院教育を充実させ、国際的に活躍できる高度専門人材を育成する。

エ 総合大学の強みを生かした幅広い知識を有する人材の育成

予測困難で変化の激しい時代を生き抜くため、新たな価値を創造し、社会課題を解決できるよう、総合大学の強みを生かした文理融合、学部横断型の学際的な教育を推進し、幅広い知識を有する人材を育成する。

オ 人材育成に向けた教育システムの充実

- (7) 教育の質保証

兵庫県立大学がめざす教育を達成するため、自ら点検及び評価を行い、その評価結果を改善につなげるPDCAサイクルが適切に機能するように、継続的に教育システムを見直す。

(イ) 多様な学生の確保

国内外から選ばれる大学として、意欲的で優秀な学生を確保するため、効果的・戦略的な広報活動を展開する。

また、アドミッション・ポリシーに沿った多面的・総合的な評価制度を運用することにより、多様な学生を確保する。

(ウ) 学生支援の充実

学生が、社会の変化に柔軟に対応できる適応力と高い専門性を兼ね備えた職業人として成長できるよう、学修支援、生活支援、就職支援など、入学から卒業・修了まで一貫した学生支援を行う。

(エ) 中高大連携の強化

附属中学校、高等学校の6年間を一体的に捉えた中高一貫教育の充実、強化を図る。

また、県内高等学校と兵庫県立大学との連携を強化する。

(2) 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学

ア 高度な研究基盤を活用した先端研究の推進

SPRING-8-II、ニュースバル、スーパーコンピュータ「富岳」などの高度な研究基盤や、先端医療工学研究所などの優れた研究拠点を活用し、特色ある最先端・異分野融合の研究をさらに推進する。

また、論文数の増に加え、査読付きや引用度の高い論文など質の向上を図るとともに、その研究成果についても、広く世界へ発信する。

さらに、若手、女性、外国人など研究者の多様性を高めることで、持続的に新たな価値を創出し、発展し続けるための活力ある研究環境を形成する。

イ 兵庫の先進的な取組を活用した実践的な研究の推進

減災復興や災害看護など、兵庫が先導してきた取組をさらに国内外に発信し次世代に伝えるとともに、国内外の大学、研究機関等と連携しながら、県民に還元すべき実践的な研究を引き続き推進し、レジリエントな社会の実現を目指す。

ウ 社会課題の解決に向けたイノベーションの創出

大学の総合知を共創し、より良い社会の実現に寄与するため、関係学部、研究科、

附置研究所の他、学内外の関係機関と連携をしながら、研究により得られた知見の社会実装を進め、社会イノベーションを創出する。

(3) 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

ア 未来社会を先導する産学官連携の推進

自治体や民間企業との連携を深め、地域のシンクタンクとして、新たな価値を生み出していく仕組みを構築する。

また、社会課題の解決に資する共同研究の推進やスタートアップ企業の育成を強化する。

イ 兵庫の経験を生かした災害に強い地域づくりへの貢献

兵庫県立大学の強みである防災・減災に関する知見を生かし、南海トラフ巨大地震対応に優先的に取り組み、国内外の研究機関や自治体等との連携を強化し、研究成果を社会実装することで、災害に強い地域づくりに貢献する。

ウ 共創による持続可能な地域づくりの推進

地域の課題解決を担うシンクタンク機能を強化し、県をはじめとした多様な主体と連携した持続可能な地域づくりを推進する。

エ 次世代の兵庫を担う人材の育成と地域の期待に応える取組の推進

地域社会と連携し、学生の県内企業への理解を深化させる取組を強化するなど、引き続き、次世代の兵庫を担う人材の県内就職促進を図る。

2 芸術文化観光専門職大学

(1) 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学

ア 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして新たな価値を創造できる人材の育成

演劇的手法を用いた対話的コミュニケーション能力を基礎とし、合意形成を図りながら芸術文化と観光の両分野の事業活動を推進できる能力の養成に向けた教育を推進することにより、芸術文化及び観光の双方の視点を生かして、新たな価値を創造できる専門職業人を育成する。

イ 地域活性化に貢献する専門職業人の育成

但馬をフィールドに、大学と企業・自治体等で課題認識を共有し、新たな価値の創造により、芸術文化の発展及び持続可能な観光の振興に繋げ、地域活性化に貢献

できる専門職業人を育成する。

ウ 世界に通じる専門職業人の育成

国際的に通用する芸術文化及び観光に関する専門的な知識・技能や語学力を兼ね備え、地域で生み出された芸術文化及び観光の新たな価値を世界に発信し得る、世界に通じる専門職業人を育成する。

エ 人材育成に向けた教育システムの充実

(7) 多様な学生の確保

戦略的な広報を通じて大学のプレゼンスを向上させるとともに、多面的・総合的に評価を行う入学者選抜を実施し、アドミッション・ポリシーに適う多様な学生を確保する。

(1) 特色ある先進的な教育の推進

新たな時代を見据えた教育のあり方について検討するとともに、先進的な教育モデルをブラッシュアップし、継続的に教育システムの見直しを行う。

また、産業界や自治体等と連携した、より実践的な学びの機会を提供し、他大学にはない独自性のある教育を展開する。

(7) 学生支援の充実

学生が、社会の変化に柔軟に対応できる適応力と高い専門性を兼ね備えた職業人として成長できるよう、学修支援、生活支援、就職支援など、入学から卒業まで一貫した学生支援を行う。

(2) 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学

ア 専門職大学の強みを生かし、地域活性化に資する研究活動の推進

芸術文化及び観光を架橋した先導的・創造的な研究を推進し、地域のニーズと大学のシーズをマッチングさせることにより、地域課題の解決やイノベーションを創出する。

イ 研究成果の社会への還元

産学官の協働関係・ネットワークを構築し、共同研究、受託研究等を推進するとともに、研究成果を広く国内外に発信し、社会に還元する。

(3) 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

ア 大学が有する資源の地域社会における活用

地域連携拠点である「地域リサーチ&イノベーションセンター」のシンクタンク、コンサルティング、インキュベーション機能を強化し、県、市町、地元企業と協働しながら、芸術文化の発展及び持続可能な観光の振興に繋げ、地域活性化の好循環を実現するとともに、地域創生の新しいモデルを県内外に発信し、社会に還元する。

イ 大学の特長を生かした地域貢献の推進

教員の半数が実務家教員という芸術文化観光専門職大学の特長を生かし、演劇的手法によるコミュニケーション教育や実践講座など、小中高大連携をはじめとする地域連携を推進する。

また、芸術文化観光専門職大学ならではの県民に新たな学びの場を提供するリカレント教育を推進する。

ウ 芸術文化及び観光に係る国際交流の推進

地域と連携した異文化交流の推進により、芸術文化及び観光に係る新たな国際交流の場を形成し、但馬と世界を結びつける社会づくりに貢献する。

第3 管理運営に関する目標

1 戦略的経営の推進

(1) 社会ニーズの変化に対応できる体制の構築

理事長及び学長のリーダーシップのもと、社会の変化に的確に対応するため、両大学の特性を踏まえた機動的かつ柔軟な大学運営を実現できるガバナンス体制を構築する。

また、あらゆる多様性を尊重し、学生、教職員が持つ能力を最大限に活かし、共創できる環境を実現するため、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進に取り組む。

(2) 魅力発信と知名度向上

両大学が選ばれる大学であり続けるため、特色ある取組や優れた研究成果など他大学にはない強みや魅力を、ターゲットに応じて効果的に発信し、ブランディングによる知名度向上に取り組む。

(3) 教育研究基盤への計画的な新規投資

社会経済のグローバル化、高度情報化や環境・エネルギー、健康・医療、ロボット・人工知能（A I）、芸術文化・観光等の成長分野への対応など、新たな教育研究ニーズに応えるため、将来にわたる教育研究の発展を支える新規投資を計画的に行う。

(4) 両大学間の連携

1 法人 2 大学の強みを生かし、より良い教育研究環境が実現できるよう、情報共有や両大学の経営資源の相互利用などの連携した取組を行う。これにより、教育、研究、社会貢献の各分野において個々に進める以上の効果を発揮する。

2 効率的経営の推進

(1) 経営資源の重点配分・相互利用

両大学の教育研究水準の維持・向上や将来構想の実現等に向け、限られた経営資源の重点的投入や、両大学の経営資源の相互利用、他の機関との連携により、効率的、効果的な経営を推進する。

また、業務の効率化、高度化を図るため、法人全体でDXを推進する。

(2) 安全・快適な環境の計画的整備

計画的な施設整備と適切な維持管理の推進により、学生や教職員に安全で快適な教育研究環境を提供する。

3 自律的経営の推進

(1) 財務運営の改善

法人運営の自律性を高め、持続可能な財務構造を確立するため、国の大型競争的資金や科学研究費補助金、企業との共同研究費など外部資金の獲得を促進する。

また、ふるさと寄附やネーミングライツの活用など、財政基盤の強化に向けた取組を強化する。

(2) 自己点検・評価及び情報の提供

自己点検・評価や法人評価委員会等による外部評価を踏まえながら、組織や業務執行について不断の改善、改革を進める。

公立大学としての説明責任を果たすため、法人情報等を積極的に公開し、県民とステークホルダーの意見を法人経営に反映する。

(3) コンプライアンスの推進

ア 法令の遵守

公共的な使命を持つ法人として、業務運営、研究活動における不正行為や公的研究費の不正使用を防止するため、コンプライアンスを徹底する。

また、法人運営の透明性・公平性を担保するために、内部統制体制の確立を図る。

イ 安全管理体制の確保

学生や教職員が安全・安心して学修や教育研究等を実施できるよう安全・衛生管理や情報セキュリティ体制の充実を図るとともに、大学運営上、重大な影響を及ぼさないように災害等に対する危機管理体制を強化する。

第4 中期目標の期間

令和7年4月1日から令和13年3月31日までの6年間とする。

第5 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するため、法人に次のとおり、教育研究上の基本組織を置く。

1 兵庫県立大学

(1) 学部

国際商経学部、社会情報科学部、工学部、理学部、環境人間学部、看護学部

(2) 研究科

社会科学研究科、工学研究科、理学研究科、環境人間学研究科、看護学研究科、情報科学研究科、緑環境景観マネジメント研究科、地域資源マネジメント研究科、減災復興政策研究科

(3) 附置研究所

政策科学研究所、高度産業科学技術研究所、自然・環境科学研究所、地域ケア開発研究所、先端医療工学研究所

2 芸術文化観光専門職大学

(1) 学部

芸術文化・観光学部